

大地沢青少年センター民間活力導入検討の報告について

大地沢青少年センターの民間活力導入について検討作業を行ってまいりました。

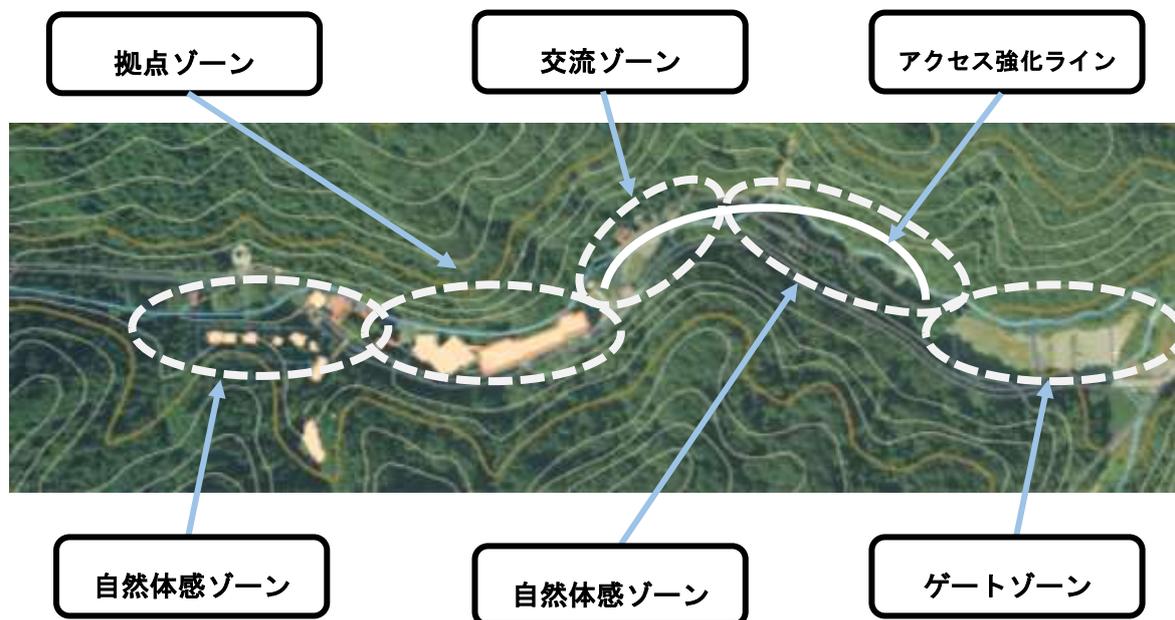
事業者の関心や、導入に際し必要な条件を調査するための事業者アンケート及びヒアリング調査などを実施いたしました。

この度、そのコンサルタントによる検討結果について、ご報告させていただきます。

1 大地沢青少年センターの目指す姿

- 1：多世代の人々が大地沢の豊かな自然にふれる仕組みづくり
- 2：大地沢の豊かな自然環境と一体となった施設環境づくり
- 3：1と2との関連付けによる魅力の最大化

2 事業展開



- 拠点ゾーン：宿泊機能・休憩機能・飲食機能の充実を図り、施設の拠点的役割を担う
- 自然体感ゾーン：豊かな自然の中で、食事・レクリエーション等を楽しめる
- 交流ゾーン：拠点ゾーンの機能を補完し、人々の交流を促進する
- ゲートゾーン：駐車場として、施設への交通アクセス機能を担保する
- アクセス強化ライン：拠点ゾーンとゲートゾーンとの連携を強化、一体感を形成する

3 課題について

現時点では、大地沢青少年センターの民間活力導入については、指定管理者制度の優位性が認められました。

今回の検討に当たり、事業者の方々へのアンケート、1次・2次ヒアリング等を通じ、様々なご意見をいただいています。

うち複数の事業者から、大地沢青少年センターについては、
○山間部に位置し、細長い地形をしており土地の活用が難しい
○広い面積のわりに平地が少ない

このような意見を述べられており、このことが積極的な参画意欲を削いでいる状況も見受けられます。

4 今後の取り組み

上記のことから、集客力のアップを見据えて、より効果的な用地活用に着目した検討を継続することが必要と考えています。

今後は用地の活用についてどのような方法が考えられるか、またその実現のためにはどのような条件を満たせばよいかについて、関係部署調査等も含めて、検討を進めていきます。